



2025年3月期 第1四半期決算に関するお知らせ

日本酸素ホールディングス(株) (社長 CEO : 濱田 敏彦) は、2025年3月期 第1四半期の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、[当社ウェブサイト](#)に開示しております決算短信および決算電話会議資料をご覧ください。

記

1. 2025年3月期 第1四半期業績概要

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナ・中東の地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的な物価上昇、円安の進行、主要顧客のひとつである半導体産業の稼働状況などにより、引き続き、先行きを見通すことが困難な状況でした。

このような状況の下、主力製品であるセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で増加しましたが、グループ全体での製商品需要は軟調でした。また、一部の主要な地域では、セパレートガスの製造原価に多く占める電力コストが前期比で減少しました。グループ全体としては、コスト上昇による販売価格への転嫁等の価格マネジメント、そして地域ごとに生産性向上プログラムに取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上収益 3,292 億 74 百万円(前年同期比 6.6%増加)、コア営業利益 483 億 55 百万円(同 18.7%増加)、営業利益 479 億 79 百万円(同 17.8%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益 290 億 85 百万円(同 18.4%増加)となりました。

(単位:十億円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		為替影響除き 増減率
	第1四半期 (4-6月期)	第1四半期 (4-6月期)	増減額	増減率	
売上収益	308.9	329.2	+20.3	+6.6%	-1.1%
コア営業利益	40.7	48.3	+7.6	+18.7%	+8.8%
コア営業利益率	13.2%	14.7%			
非経常項目	-0.0	-0.3	-0.3		
営業利益(IFRS)	40.7	47.9	+7.2	+17.8%	
営業利益率	13.2%	14.6%			
EBITDAマージン	22.0%	23.6%			
金融損益	-4.4	-5.0	-0.6		
税引前四半期利益	36.2	42.9	+6.7	+18.4%	
法人所得税	10.6	13.2	+2.6		
四半期利益	25.5	29.6	+4.1	+16.1%	
(四半期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する四半期利益	24.5	29.0	+4.5	+18.4%	
四半期利益率	8.0%	8.8%			
非支配持分に帰属する四半期利益	0.9	0.5	-0.4		
為替レート(円)	USD(米ドル)	139.63	158.24		
(期中平均レート)	EUR(ユーロ)	151.89	170.08		
	AUD(豪ドル)	91.94	104.66		

2. 2025年3月期 通期業績予想

2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
	通期	通期予想	増減額	増減率
(単位：十億円)		(2024年5月13日発表)		
売上収益	1,255.0	1,300.0	+45.0	+3.6%
コア営業利益	165.9	177.0	+11.1	+6.6%
コア営業利益率	13.2%	13.6%		
非経常項目	6.0	0.0	-6.0	
営業利益 (IFRS)	172.0	177.0	+5.0	+2.9%
営業利益率	13.7%	13.6%		
EBITDAマージン	22.2%	22.4%		
金融損益	-21.3	-23.0	-1.7	
税引前利益	150.7	154.0	+3.3	+2.2%
法人所得税	41.3	46.0	+4.7	
当期利益	109.3	108.0	-1.3	-1.2%
(当期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する当期利益	105.9	105.0	-0.9	-0.9%
当期利益率	8.4%	8.1%		
非支配持分に帰属する当期利益	3.4	3.0	-0.4	
為替レート (円)	USD (米ドル)	145.31	145.31	
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	157.72	157.72	
	AUD (豪ドル)	95.32	95.32	

(参考情報)

2025年3月期 第1四半期 セグメント別業績概要

(単位：十億円)		2024年3月期	2025年3月期		前年同期比			
		第1四半期 (4-6月期)	第1四半期 (4-6月期)	構成比	増減額	増減率	為替影響	為替影響除き 増減率
日本	売上収益	107.6	100.9	30.6%	-6.7	-6.2%	+0.1	-6.4%
	セグメント利益	11.2	11.5	23.9%	+0.3	+2.9%	+0.0	+2.5%
	セグメント利益率	10.4%	11.5%					
米国	売上収益	82.0	92.6	28.1%	+10.6	+12.9%	+10.9	-0.4%
	セグメント利益	11.1	14.8	30.6%	+3.7	+32.3%	+1.5	+16.4%
	セグメント利益率	13.6%	16.0%					
欧州	売上収益	73.1	85.0	25.8%	+11.9	+16.3%	+8.7	+3.8%
	セグメント利益	13.1	16.6	34.4%	+3.5	+26.6%	+1.6	+12.8%
	セグメント利益率	18.0%	19.6%					
アジア・オセアニア	売上収益	38.4	42.4	12.9%	+4.0	+10.3%	+4.1	-0.5%
	セグメント利益	4.1	4.3	8.9%	+0.2	+4.8%	+0.4	-5.7%
	セグメント利益率	10.7%	10.2%					
サーモス	売上収益	7.5	8.2	2.6%	+0.7	+9.0%	+0.0	+7.9%
	セグメント利益	1.4	1.2	2.6%	-0.2	-13.0%	+0.0	-16.3%
	セグメント利益率	18.8%	15.0%					
調整額	売上収益	0.0	0.0	0.0%	+0.0	—	—	—
	セグメント利益	-0.3	-0.2	-0.4%	+0.1	—	—	—
連結合計	売上収益	308.9	329.2	100.0%	+20.3	+6.6%	+24.1	-1.1%
	セグメント利益	40.7	48.3	100.0%	+7.6	+18.7%	+3.6	+8.8%
	コア営業利益率	13.2%	14.7%					

【日本】

産業ガス関連では、セパレートガスの出荷数量は微減、炭酸ガスは前年同期並みでした。また、電子材料ガスの出荷数量は軟調でした。機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、中大型案件の工事の進捗に伴う売上等により、増収となりました。一方、前期の特定顧客向けにオンサイト供給を担う子会社のジョイント・オペレーション化及び民生用LPガス事業を担う子会社の非連結化による減収影響がありました。

【米国】

産業ガス関連の売上収益は、セパレートガスの出荷数量が堅調に推移したことや、価格マネジメントの効果により、増収となりました。機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連とも販売が軟調でした。

【欧州】

産業ガス関連の売上収益は、セパレートガスの出荷数量が堅調に推移したことや、価格マネジメントの効果により、増収となりました。機器・工事では、ガス関連機器及び医療関連機器の販売が好調で増収となりました。

【アジア・オセアニア】

産業ガス関連では、セパレートガスの出荷数量は堅調に推移しました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、販売数量が堅調に推移し、売上収益は増収となりました。エレクトロニクス関連では、東アジア

で、客先の稼働状況の影響で、電子材料ガスの出荷数量は軟調でした。

【サーモス】

日本では、ケータイマグの販売は堅調で、機能的でスタイリッシュなデザインの新製品の上市もあり、売上収益は増加しました。また、海外での販売は軟調でした。セグメント利益は、販売費及び一般管理費、円安に伴う製造コストの増加により、減益となりました。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの4つの地域で30超の国と地域をカバーする世界第4位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界120カ国以上にTHERMOSブランド製品を供給しています。1910年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000名以上の従業員を擁する私たちは、“The Gas Professionals”として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513

Nshd.Info@nipponsanso-hd.co.jp